

【 】の内容は、視点3「教師の個に応じたかかわり」であり、表1に対応する。

体力づくりの流れ		教育課程	場 所	主 な 学 習 活 動	評 価 規 準	手だて(資料等)及び 視点3「個に応じたかかわり」 実態把握 かかわり 反応分析
経 路	過 程					
視点1 「目的意識を持たせる」	体力づくりの必要性の理解	特別活動 (学級活動) 1時間	パソコン室	1 なぜ運動に取り組むかについて考える。 2 運動について考えたことを学級のみならずで話し合う。 3 運動のよさについてみんなでまとめる。 4 体力づくりの必要性について先生からの説明を聞く。	体力づくりの必要性について理解でき、実践の意欲をもてたか。 (知識・理解) (関心・意欲・態度)	体力づくりの必要性を分かりやすく説明するための資料 【表1のエ、カ】
	自分の体力への気付き	特別活動 (学級活動) 1時間	パソコン室	1 自分の体力の状態について考える。 2 一学期の体力・運動能力調査の結果を基に自分の体力について調べる。 3 全国平均値との比較やグラフのバランスから、自分の体力の特徴に気付く。	全国平均値との比較やグラフのバランスから自分の体力の特徴に気付く。実践の必要感をもてたか。(思考・判断)	体力の分析の仕方を分かりやすく説明するための資料 児童が自分の体力の課題に気付けるワークシート 【表1のイ、ウ、エ】
	体力づくりの見直し			1 これまでの体力づくりを振り返る。 2 これまでの反省をもとに体力づくりの進め方について考え、見直しをもつ。	体力づくりの見直しをもち、実践の意欲をもてたか。 (関心・意欲・態度)	体力づくりの見直しをもたせるための手引 【表1のア、イ、オ】
視点2 「継続的に取り組ませる」	目標	体 育 (体づくり運動) 1時間	校 庭	1 自分の体力の状態を確かめるため、測定を行う。 (1) 共通課題 (2) 個人課題 2 目標記録を決める。	「ここまで伸ばしたい」などの願いをもち、達成可能な目標を決めることができたか。 (関心・意欲・態度)	児童同士で測定ができるような手引 目標を決める際の参考にできる資料 体力づくりの様子を見取ることができる体力づくりカード 【表1のア、イ、カ】
	計画	体 育 (体づくり運動) 2時間	校 庭	1 体力を高めるための運動や遊びをする。 2 取り組んだ運動や遊びと体力との関係について考え、まとめる。 3 グループで体力を高めるための運動や遊びを考える。 4 工夫した運動や遊びを紹介し合う。 5 自分の課題に合った運動や遊びを選び、計画を作成する。	高まる体力と関連付けて運動や遊びをしたり、考えたりできたか。(思考・判断) 「この運動をやってみよう」などの思いをもって計画を立てることができたか。 (関心・意欲・態度)	運動や遊びと高まる体力とを関連付けさせた資料 【表1のイ、ウ、カ】
	実行	体 育 (バスケットボール) 4時間	体 育 館	授業「バスケットボール」 ・ 単元の刈込においてバスケットボールで高まる体力について考える。 ・ バスケットボールの技能を高める運動や遊びを知る。(体力づくりに生かす。) ・ 体力づくりの進め方を知る。 ・ 体力づくりを振り返る。	運動や遊びを楽しみながら体力づくりに取り組んでいるか。 (関心・意欲・態度)	刈込における高まる体力の意識付け 高まる体力を意識させた体ほくしや補助運動の実施 体力づくりを振り返る時間の確保 【表1のイ、カ、キ】
	評価	体 育 (体づくり運動) 1時間	校 庭	1 体力の伸びを確かめるため、測定を行う。 (1) 共通課題 (2) 個人課題 2 測定結果を基に、これまでの体力づくりを振り返る。 3 目標や計画を見直す。	体力づくりを振り返り、「この調子だ」、「計画通りできなかったからかなあ」、「もっと伸ばすぞ」など、次へつながる思いをもてたか。 (関心・意欲・態度)	児童同士で測定ができるような場の工夫 【表1のウ、カ、キ】

図5 児童の運動意欲を高め、実践を継続させる体力づくり実践プログラム (印のついた「手だて(資料)」の画像)

鹿児島市立川上小学校 小森誠喜 教諭の実践研究を基に作成

### 3 おわりに

児童が目的意識をもち、継続して主体的に体力づくりに取り組むことを目的に据えた体力づくりにおいて、児童の意欲の変化に留意しながら、指導と評価の一体化を図った取組を実際に行ってもらった結果、意欲的に体力づくりに取り組む児童が増え、また、運動嫌いだった児童も積極的に取り組むようになってきた。このことから、体力

づくりは「運動好きの児童」にする可能性をもつ活動であり、このような活動を継続していくことが、運動の生活化、ひいては、健康・体力の向上につながると考える。

- 1) 県総合教育センター指導資料第32号「児童一人一人がいまいきいきと活動する体力づくり」平成18年度
- 2) 市村操一ほか編「体育授業の心理学」平成15年 大修館書店
- 3) 県総合教育センター指導資料第112号「授業に生かすカウンセリング」平成13年度

(教職研修課)

